



2022年12月期 決算説明会資料

2023年2月13日

ローランド株式会社



JC-120 JAZZ CHORUS
Roland 50th Anniversary Limited Edition

<留意事項：会計処理の変更について>

- 2022年12月期は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日改正、2021年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から新たに適用）を適用し、当該基準に基づいた実績となっています
- このため、当該基準適用前の2021年12月期の実績値に対する増減率は記載していません
- 当社においては「売上割引（売上高の約1%）」が、「営業外費用」から「売上控除」に変更となります
- 結果、**見た目上の売上高・営業利益・営業利益率が減少しますが、キャッシュフロー・純利益に影響はありません**
- ご理解の一助のため、2021年12月期と同様の基準で算出した前期比較を記載しております

今回発表のポイント

- **2022年12月期 通期業績**

- ・欧州、中国において想定外の環境変化があったが、アジャイルに対応
- ・会計基準変更影響を除き、**増収増益**
- ・Drum Workshop社（DW社）の連結を、Q4より開始

- **2023年12月期 通期見通し**

- ・前期比**増収、増益を計画**
- ・コロナを経て、Music Creationの**TAMの大きさを再認識**
- ・不透明感はあるが、需要創造とシェアの拡大により**成長を継続**

- **株主還元**

- ・2023年12月期は、基本方針にそった現金配当(**増配**)を予想

1 2022年12月期 通期業績概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 株主還元

4 補足資料

1 2022年12月期 通期業績概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 株主還元

4 補足資料

決算のポイント

売上高

958.4億円

(対前期比¹ : +20.9%)

- 最大市場である**北米の好調は継続**
- **中国ではロックダウン影響**
- Drum Workshop社の連結（第4四半期から）が**アドオン**

営業利益

107.5億円

(対前期比¹ : +5.5%)

- 会計基準変更影響を除き**前期比増益**
- 数量減の影響を**価格適正化効果で打ち返し**

当期純利益²

89.3億円

(対前期比¹ : +4.1%)

- 繰延税金資産の計上により業績予想より上振れ（一過性要因）

¹ 前期比は、「収益認識に関する会計基準」の適用影響を除外した比較

² 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

連結業績

- 売上総利益率は、前年同基準⁴比較で、ほぼ前年並みに回復
- Q4よりDW社の連結を開始

(単位: 百万円)	2021年12月期 ¹		2022年12月期 ²				
	実績	売上比	新基準		旧基準 (前期同様の会計基準)		
			実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	80,032	100.0%	95,840	100.0%	96,794	100.0%	+20.9%
売上総利益	36,137	45.2%	39,356	41.1%	40,310	41.6%	+11.5%
販管費	25,043	31.3%	28,605	29.8%	28,605	29.6%	+14.2%
営業利益	11,093	13.9%	10,751	11.2%	11,704	12.1%	+5.5%
当期純利益 ³	8,586	10.7%	8,938	9.3%	8,938	9.2%	+4.1%

前年同基準⁴
44.8%

為替影響 (対旧基準前期比)

売上	+103億円
営業利益	+2億円

1 2021年12月期の為替レート 米ドル/円 : 109.81、ユーロ/円 : 129.93、ユーロ/米ドル : 1.183

2 2022年12月期の為替レート 米ドル/円 : 131.44、ユーロ/円 : 138.10、ユーロ/米ドル : 1.051

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

4 為替影響および「収益認識に関する会計基準」の適用影響、DW社の新規連結影響を除外した比較

製品別売上高

単位：百万円	2021年12月期		2022年12月期				増減要因
	実績	構成比	実績	構成比	前期比 ¹	実質 ² 前期比	
鍵盤楽器	24,792	31.0%	29,869	31.2%	+21.6%	+8.6%	全体として電子ピアノの需要はコロナ前より高いレベル。低価格帯については需要軟化があったが、チャンネル開拓も奏功し、好調に推移。
管打楽器	19,053	23.8%	23,046	24.1%	+22.0%	-3.7%	ドラムは、中国ロックダウンおよび、一部新製品の発売遅延等の影響があったが、DW社連結の効果もあり増収。電子管楽器は地域限定モデルの投入等も奏功し好調が継続。
ギター関連機器	19,093	23.9%	23,540	24.6%	+24.7%	+10.8%	ギターエフェクターは、ルーパーシリーズやマルチ・エフェクターの新製品等が貢献。楽器用アンプは、中国での需要低下があったが、主力のKATANAシリーズを中心に好調。
クリエイション関連機器&サービス	10,122	12.6%	12,206	12.7%	+21.9%	+8.7%	シンセサイザーは、一部供給不足もあったがFANTOM-0シリーズ等の新製品が好調。ダンス&DJ関連製品では、前期発売したサンプラー等が好調。
映像音響機器	4,282	5.3%	4,357	4.5%	+2.8%	-6.5%	映像関連機器では、個人配信向け需要に落ち着き。一方イベント需要が回復し関連製品が好調も、供給不足が発生。V-MODAは主力製品の販売が低迷。
その他	2,689	3.4%	2,819	2.9%	+5.8%	-3.7%	楽器関連アクセサリ(ケース、ケーブル等)は概ね計画通りの販売。3rd partyブランドの取り扱い減少。
合計	80,032	100.0%	95,840	100.0%	+20.9%	+5.0%	

1 「収益認識に関する会計基準」の適用影響を除外した比較

2 為替影響および「収益認識に関する会計基準」の適用影響、DW社の新規連結影響を除外した比較

地域別売上高

単位：百万円	2021年12月期		2022年12月期				増減要因
	実績	構成比	実績	構成比	前期比 ¹	実質 ² 前期比	
日本	9,666	12.1%	9,736	10.2%	+0.7%	+0.2%	電子ピアノの主力製品の供給が回復。需要は概ね堅調なものの、7-9月はコロナ感染増加により、一部の店舗販売に影響。年末商戦期の集客は良好。
北米	25,959	32.4%	34,904	36.4%	+36.6%	+9.2%	強い楽器需要を背景に、鍵盤楽器、ギター関連製品を中心に好調な販売が継続。米国向け在庫アロケーションやDW社の連結開始も寄与。市場在庫は年末にかけて高水準。
欧州	24,958	31.2%	26,439	27.6%	+7.4%	+0.1%	インフレ進行、経済先行き不安から、エントリー価格帯の商品を中心に販売が停滞。マーケット全体で供給の回復もあり、市場在庫も高水準。
中国	8,673	10.8%	9,641	10.1%	+11.2%	-3.5%	ゼロ・コロナ政策による都市ロック・ダウンにより市場全体がトーンダウン。政策は緩和されたものの感染が急増。教育市場にも影響が残る。
その他	10,775	13.5%	15,118	15.7%	+40.8%	+17.1%	電子ドラム、電子ピアノが好調。アジア諸国の行動規制緩和に伴い、東南アジア、インドのプロマーケット需要も回復。
合計	80,032	100.0%	95,840	100.0%	+20.9%	+5.0%	

1 「収益認識に関する会計基準」の適用影響を除外した比較

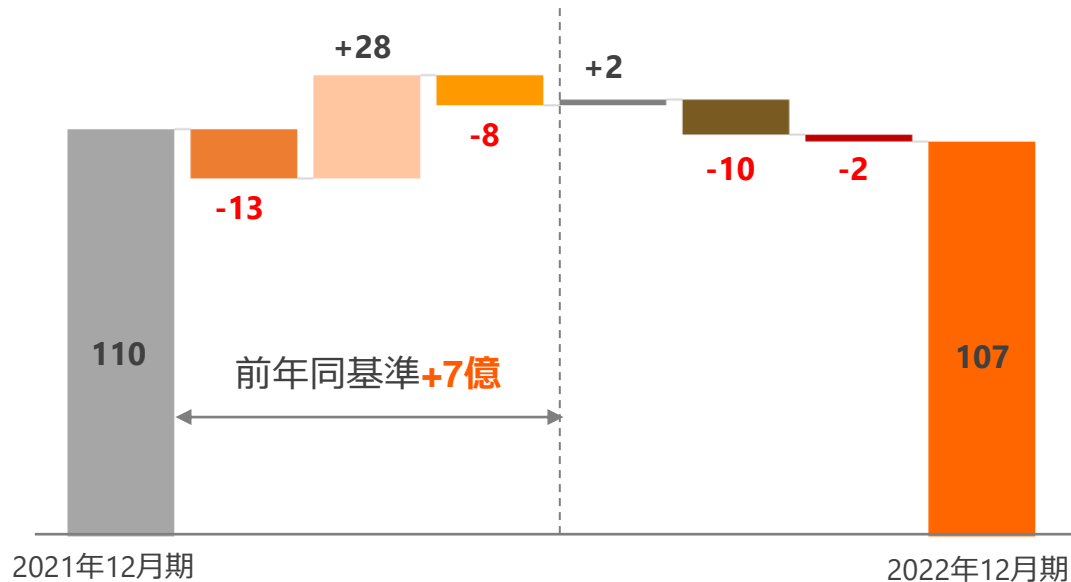
2 為替影響および「収益認識に関する会計基準」の適用影響、DW社の新規連結影響を除外した比較

連結営業利益

増減 (対前期比)

(億円)

- 販売数量変化
- 売価/原価変動
- 販管費増減
- 為替影響
- 会計基準変更影響
- DW社新規連結影響(Q4)



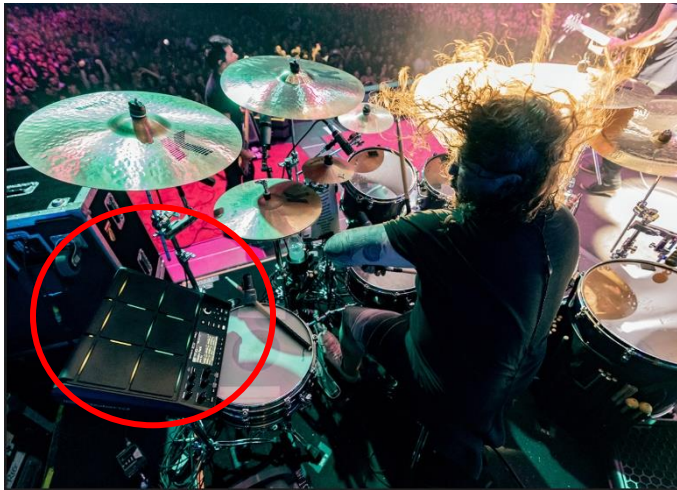
主な要因

- **販売数量変化**
 - ✓ 中国ロックダウン
 - ✓ 欧州需要軟化
- **売価/原価変動**
 - ✓ 価格適正化効果
 - ✓ 原材料、海上輸送費の高騰
- **販管費増減**
 - ✓ Drum Workshop社買収関連費用
 - ✓ 旅費交通費等の増加
- **DW社新規連結影響**
 - ✓ 新製品関連費用等の先行投資

トピックス：話題の新製品群①

SPD-SX PRO

- プロのステージでの高度な要求に応えるドラマーのための**サンプリング・パッド最上位モデル**



『SPD-SX PRO』ライブ・ステージでの演奏イメージ

F107

- 上位モデル同等の音源や鍵盤、Bluetooth®機能で楽しみが広がる**リーズナブルな電子ピアノ**。オリジナル無料アプリ「Roland Piano App」を使えば、デジタルならではの楽しさがさらに広がります



『F107』



VAD507, VAD504, VAD307

- アコースティック・ドラムの本格的なルックス、リアルな演奏感とサウンドが融合した**「VADシリーズ」**の最新モデル



『VAD507』

トピックス：話題の新製品群②

GX-100

- **高品位なサウンドと優れた操作性**を備えた、BOSSブランドのギター/ベース用マルチ・エフェクター



Aerophone AE-20

- いつでもどこでも気軽に演奏を楽しめるデジタル管楽器「**Aerophoneシリーズ**」の新しいスタンダード・モデル



FANTOM-0 Series

- 当社最高峰のシンセサイザーのサウンド、アプリケーション、操作性を備えながら、**軽量で可搬性に優れた**3モデル『FANTOM-08』『FANTOM-07』『FANTOM-06』



AIRA Compact Series

- **シンプルな操作**で気軽にエレクトロニック・ミュージックの演奏や制作を楽しめる、新しいコンセプトの小型電子楽器。



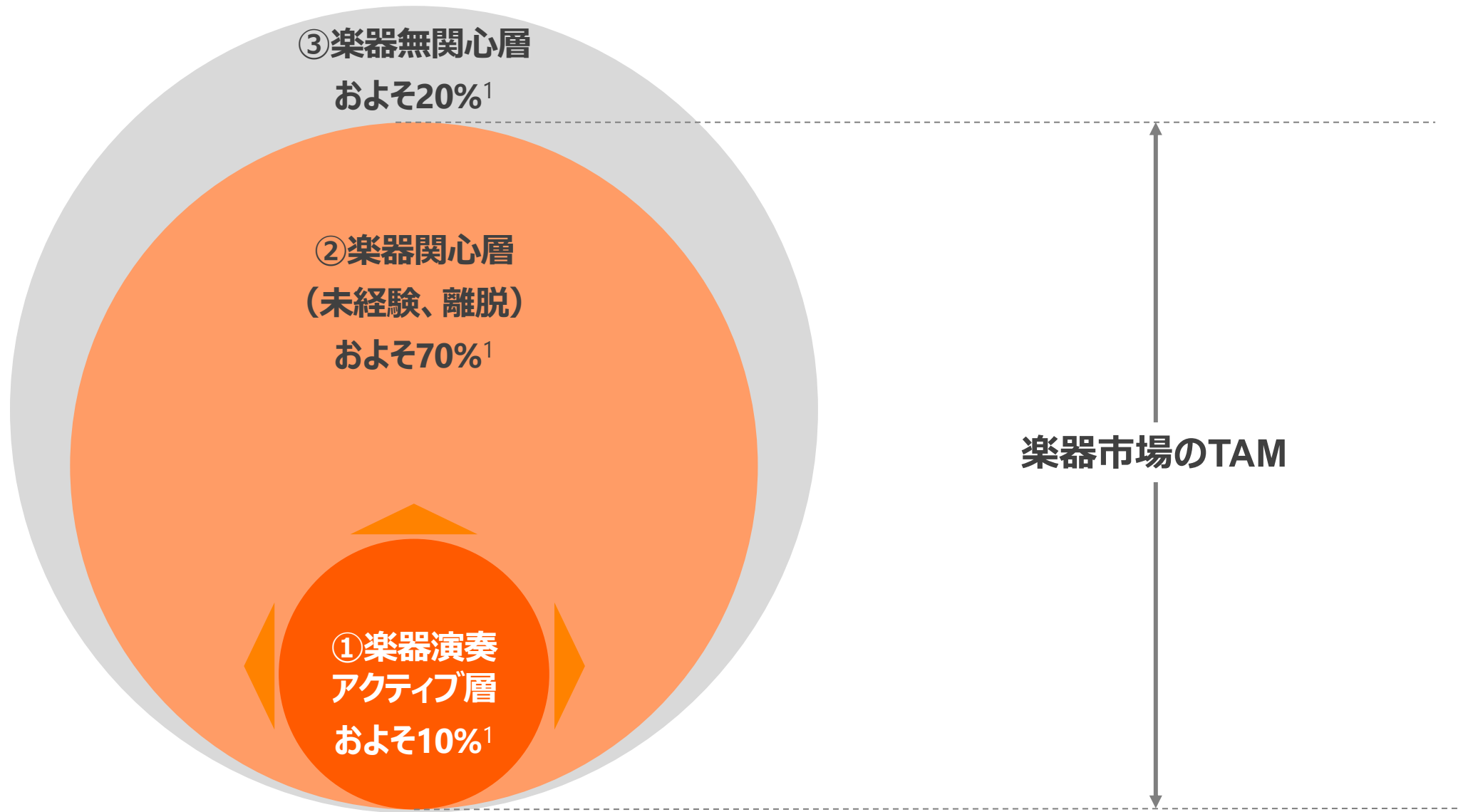
1 2022年12月期 通期業績概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 株主還元

4 補足資料

景気に不透明感が残るが、楽器市場には膨大なTAMが存在

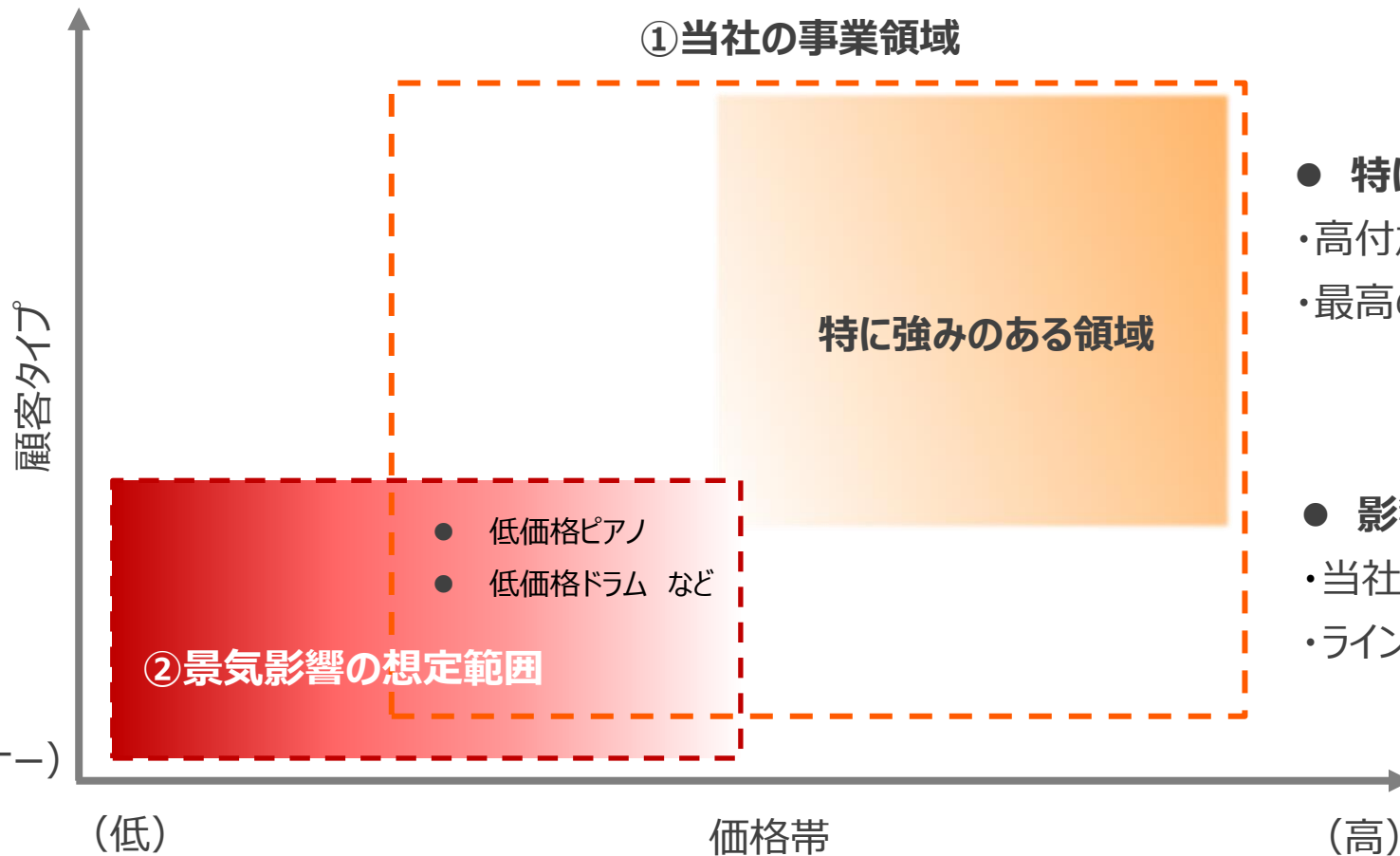


¹ 各種アンケート調査より当社推定

景気後退局面においても当社は成長可能

● 景気後退局面での想定

(プロ・こだわりある趣味層)



- 特に強みのある領域では、影響は限定的
- 高付加価値製品、サービスの継続投入
- 最高のブランド体験を提供

- 影響を受ける領域は、相対的にシェアに改善余地
- 当社は**シェア拡大により成長可能**
- ラインナップ強化とチャネル開拓を進める

短期的には不透明感が残るが、下期以降の正常化を見込む

<業績予想の前提>

上期

下期

Environment Opportunity



- 新しいLifestyleの定着
- 世界経済に不透明感



- 新しいLifestyleの定着
- 欧州・中国は回復フェーズへ移行
- 各国での年末商戦

Cost



- 部材コストは対前期比では高い状況
- 海上輸送費は対前期比で下落
- 販管費は積極的に投資



- 部材コストは高止まり
- 海上輸送費は対前期比で大幅下落
- 販管費は積極的に投資

SCM



- Dealer在庫が過剰
- 輸送リードタイム減少傾向継続



- Dealer在庫正常化
- 輸送リードタイム正常化

業績見通しのポイント

売上高

1,056億円

(対前期比 +10.2%)

- DW社の連結効果（前期比で9か月追加寄与：Q1-Q3）
- 中国・欧州での回復、北米・アジア地域等は成長継続
- **主要製品、主要地域で前年比増収**を見込む

営業利益

124億円

(対前期比 +15.3%)

- 前期実施した**価格適正化の効果**
- 海上輸送費の**減少**
- 販管費は成長に向けて積極投資

当期純利益¹

93億円

(対前期比 +4.0%)

- 大きな特別損益の発生見込み無し

¹ 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

連結業績

- DW社の新規連結効果（前期比で9か月追加寄与：Q1-Q3）を含む
- 新規連結および為替影響を除く前期比は、売上+4.3%、営業利益+22.8%

(単位: 百万円)	2022年12月期 ¹		2023年12月期 ²		
	実績	売上比	計画	売上比	前期比
売上高	95,840	100.0%	105,600	100.0%	+10.2%
売上総利益	39,356	41.1%	46,500	44.0%	+18.1%
販管費	28,605	29.8%	34,100	32.3%	+19.2%
営業利益	10,751	11.2%	12,400	11.7%	+15.3%
当期純利益 ³	8,938	9.3%	9,300	8.8%	+4.0%

1 2022年12月期の為替レート 米ドル/円：131.44、ユーロ/円：138.10、ユーロ/米ドル：1.051

2 2023年12月期の為替レート 米ドル/円：130.00、ユーロ/円：140.00、ユーロ/米ドル：1.077

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

製品別売上高

- 新製品の継続的な発売により、市場シェアの拡大と新市場の創出に取り組む
- DW社新規連結影響（Q1-Q3）により管打楽器は大幅増収

単位：百万円	2022年12月期		2023年12月期			
	実績	構成比	計画	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比
鍵盤楽器	29,869	31.2%	31,200	29.5%	+4.5%	+6.0%
管打楽器	23,046	24.1%	30,800	29.2%	+33.6%	+5.4%
ギター関連機器	23,540	24.6%	23,900	22.6%	+1.5%	+2.5%
クリエイション関連 機器&サービス	12,206	12.7%	12,600	11.9%	+3.2%	+4.2%
映像音響機器	4,357	4.5%	4,400	4.2%	+1.0%	+1.9%
その他	2,819	2.9%	2,700	2.6%	-4.2%	-3.6%
合計	95,840	100.0%	105,600	100.0%	+10.2%	+4.3%

1 為替影響およびDW社の新規連結影響（Q1-Q3）を除外した比較

地域別売上高

- DW社新規連結影響（Q1-Q3）は特に北米地域の増収に貢献
- 北米・日本・その他地域での継続的な成長に加え、欧州・中国市場の回復を見込む

単位：百万円	2022年12月期		2023年12月期			
	実績	構成比	計画	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比
日本	9,736	10.2%	10,100	9.6%	+3.7%	+2.4%
北米	34,904	36.4%	40,400	38.3%	+15.7%	+4.0%
欧州	26,439	27.6%	28,100	26.6%	+6.3%	+3.0%
中国	9,641	10.1%	10,500	9.9%	+8.9%	+10.7%
その他	15,118	15.7%	16,500	15.6%	+9.1%	+4.3%
合計	95,840	100.0%	105,600	100.0%	+10.2%	+4.3%

1 為替影響およびDW社の新規連結影響（Q1-Q3）を除外した比較

通期では増収増益を見込む

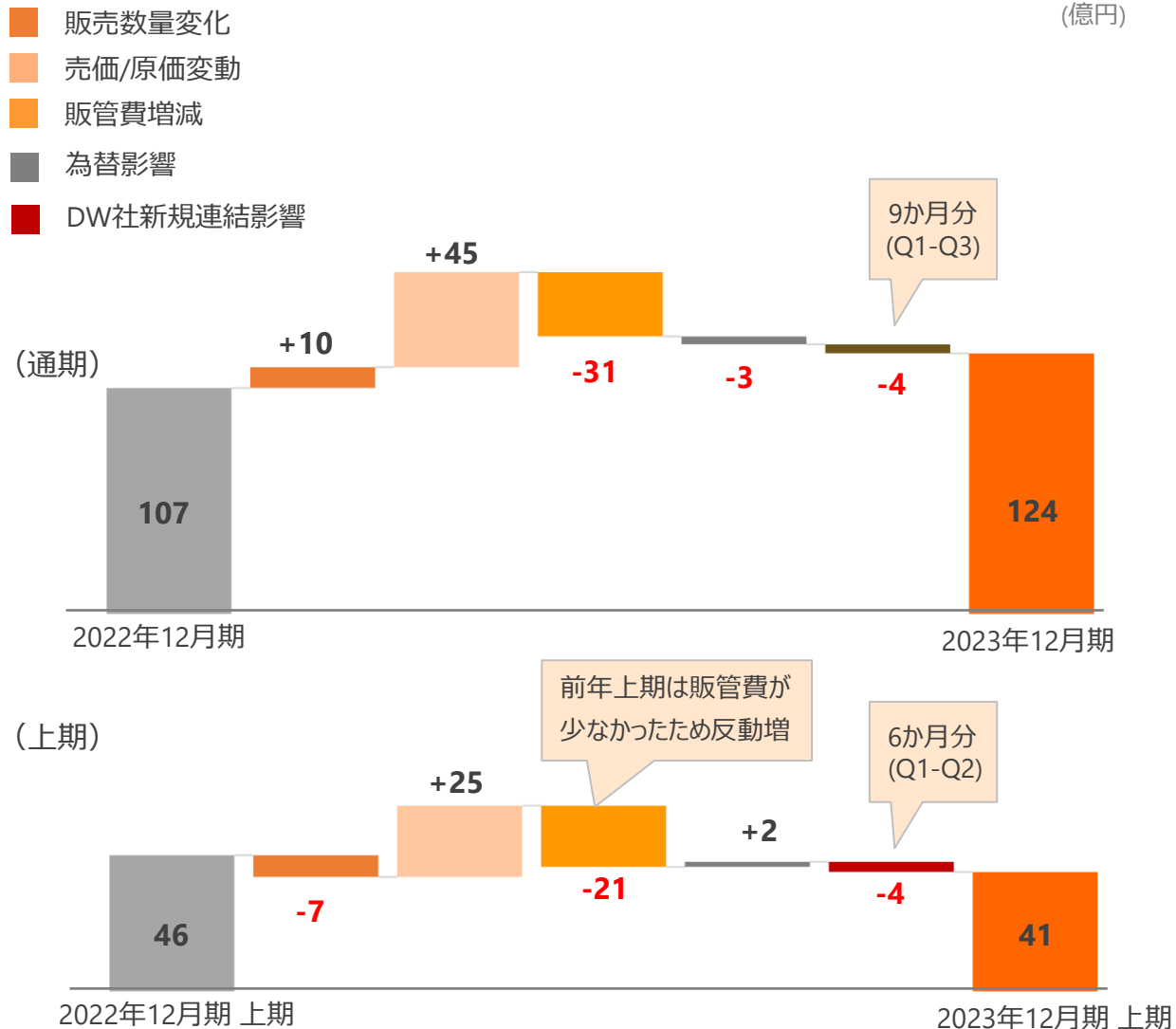
(上期・下期のPL詳細は補足資料を参照)

	上期予想	下期予想	通期予想
	増収減益	増収増益	増収増益
売上高	488億 ・前期比 : +13.5%	568億 ・前期比 : +7.5%	1,056億 ・前期比 : +10.2%
営業利益	41億 ・前期比 : -12.3%	83億 ・前期比 : +36.7%	124億 ・前期比 : +15.3%

連結営業利益予想

増減 (対前期比)

主な要因



販売数量変化

- ✓ 上期は市場在庫の調整もあり数量減
- ✓ 通期では増加

売価/原価変動

- ✓ 原材料高騰影響は継続
- ✓ 海上輸送費下落効果はQ2以降段階的に寄与
- ✓ 価格適正化効果（2022年下期実施分）

販管費増減

- ✓ 成長投資（Chip開発、システム投資、Roland Retail関連投資等）
- ✓ 人件費、広告販促費、旅費交通費等の増加

DW社新規連結影響

- ✓ 新製品関連費用等の先行投資

1 2022年12月期 通期業績概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 株主還元

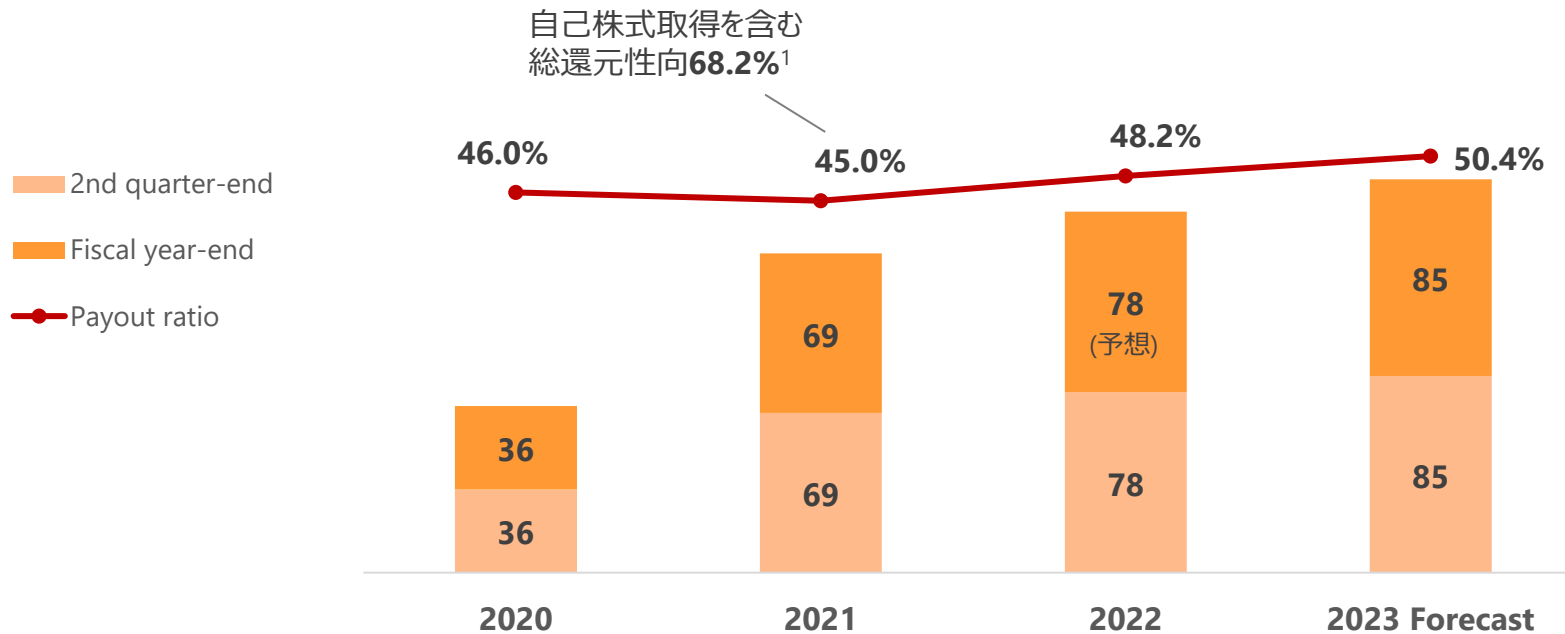
4 補足資料

基本方針に沿い、増配を予想

〈基本方針〉

持続的かつ安定的な配当を行うとともに、株式市場動向や資本効率等を考慮した機動的な自己株式の取得も適宜行うことで、連結総還元性向は**原則50%**を目指し、成長投資資金の留保が必要な場合も、連結総還元性向は30%以上を目指す。

株主還元の推移



¹ 2022年2月14日～2022年6月23日の期間にて実施した自己株式取得(20億円)を含む総還元性向

1 2022年12月期 通期業績概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

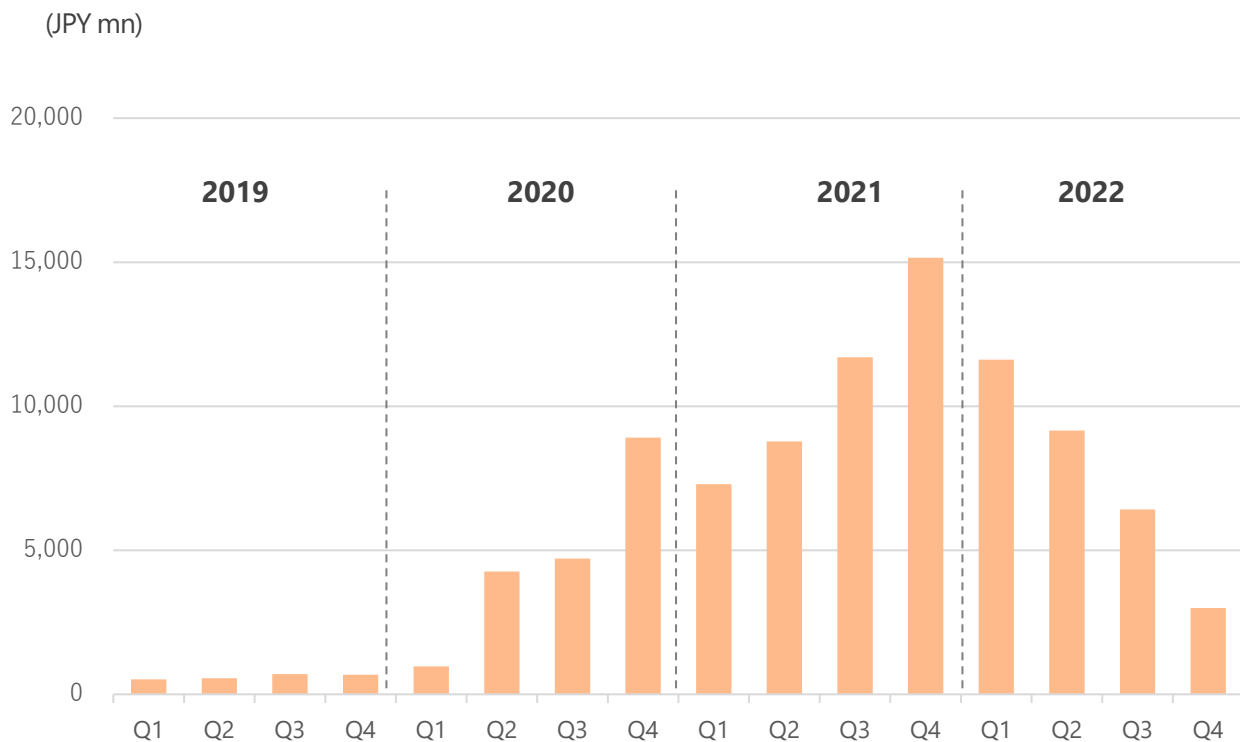
3 株主還元

4 補足資料

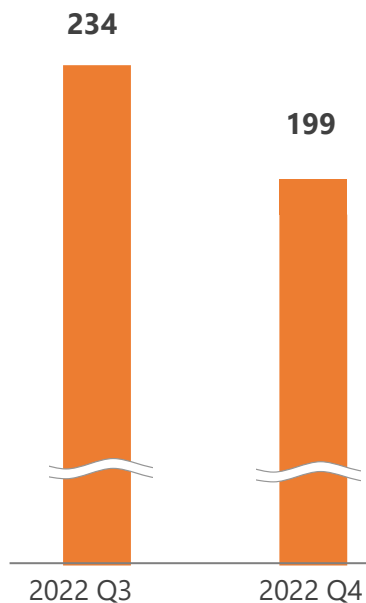
SCMは、混乱期を経て正常化へ向かう

- 受注残は、供給の回復により概ね正常化の範囲に
- 製品在庫、原材料在庫共に2022年Q3末より減少

受注残額推移

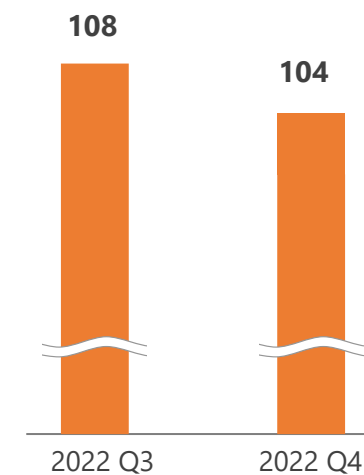


製品在庫¹



原材料在庫^{1, 2}

(億円)



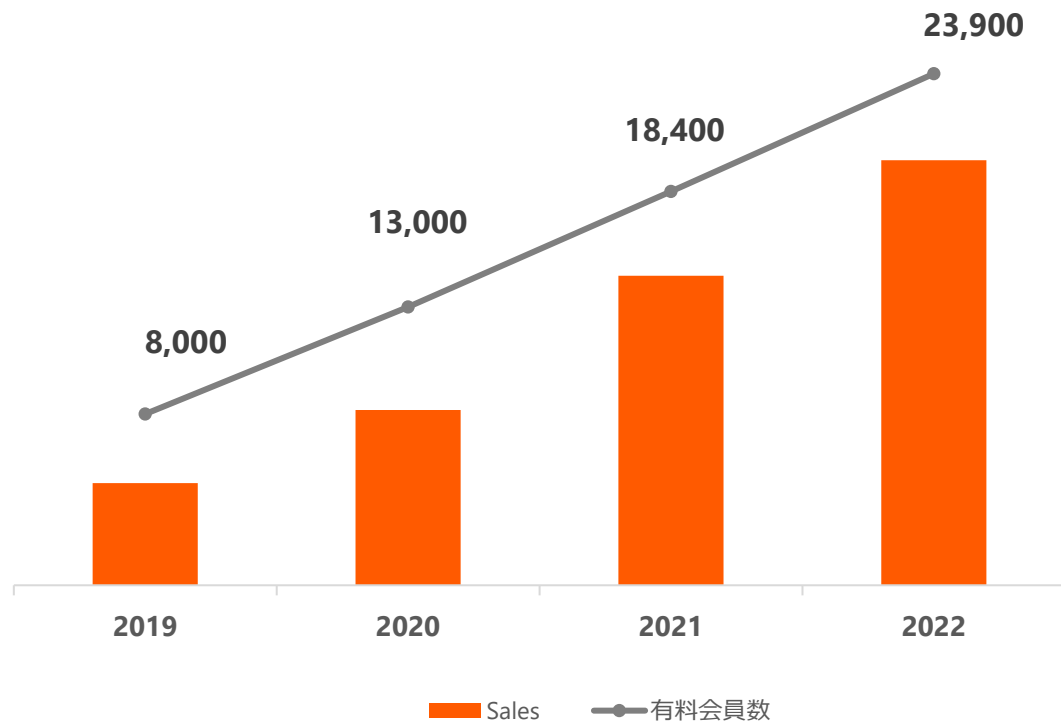
1 為替影響、新規連結影響を除く

2 原材料在庫には貯蔵品(販促物等)を含む

Roland Cloudビジネスの進捗

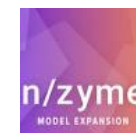
会員数と売上推移

- サブスク会員数、売上共に継続的に増加



2022年の主な取り組み

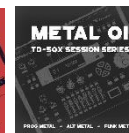
- ソフトウェア/App等の継続的なリリース
 - ✓ ソフトシンセ3機種、音色追加 92種
 - ✓ シンセ/ドラム著名インフルエンサーとのコラボレーションコンテンツのリリース
 - ✓ 既存ハードウェア向けに専用コンテンツを開発。ハードウェアのバリューアップ/販売促進を実施



for 『Fantom』



for 『V-Drums』



for 『RD-2000』

- サービス対象カテゴリの拡大

- ✓ BOSS : ユーザーデータの交換プラットフォーム提供開始
- ✓ Piano : レッスンアプリおよびレッスンデータの提供開始



- 新組織体制への移行

- ✓ 組織再編により権限と責任のシンプル化

上期連結業績予想

- DW社の新規連結効果（6か月分：Q1-Q2）を含む
- 新規連結および為替影響を除く前期比は、売上-0.3%、営業利益-8.6%

(単位: 百万円)	2022年12月期 上期 ¹		2023年12月期 上期 ²		
	実績	売上比	計画	売上比	前期比
売上高	43,004	100.0%	48,800	100.0%	+13.5%
売上総利益	17,551	40.8%	21,200	43.4%	+20.8%
販管費	12,874	29.9%	17,100	35.0%	+32.8%
営業利益	4,677	10.9%	4,100	8.4%	-12.3%
四半期純利益 ³	3,927	9.1%	3,100	6.4%	-21.1%

1 2022年12月期上期の為替レート 米ドル/円：122.90、ユーロ/円：134.30、ユーロ/米ドル：1.093

2 2023年12月期上期の為替レート 米ドル/円：130.00、ユーロ/円：140.00、ユーロ/米ドル：1.077

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

下期連結業績予想

- DW社の新規連結効果（3か月分：Q3）を含む
- 新規連結および為替影響を除く前期比は、売上+8.0%、営業利益+46.9%

(単位: 百万円)	2022年12月期 下期 ¹		2023年12月期 下期 ²		
	実績	売上比	計画	売上比	前期比
売上高	52,836	100.0%	56,800	100.0%	+7.5%
売上総利益	21,805	41.3%	25,300	44.5%	+16.0%
販管費	15,731	29.8%	17,000	29.9%	+8.1%
営業利益	6,073	11.5%	8,300	14.6%	+36.7%
四半期純利益 ³	5,011	9.5%	6,200	10.9%	+23.7%

1 2022年12月期下期の為替レート 米ドル/円：139.99、ユーロ/円：141.89、ユーロ/米ドル：1.014

2 2023年12月期下期の為替レート 米ドル/円：130.00、ユーロ/円：140.00、ユーロ/米ドル：1.077

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

サステナビリティへの対応①

<2022年の主な取り組み事例>

経営による推進・監督の開始



- 執行役員会の内部に「**サステナビリティ推進委員会**」を発足し、活動を推進
- 取締役会への報告を通じて経営陣が監督する体制・運用を開始

コンテナ積載率の改善



- 輸送効率向上による収益貢献だけでなく、売上当たりのCO2排出量も削減

コンテナ積載率を対前年比で**約4pt改善**

温室効果ガス排出量の調査



- 全事業活動による温室効果ガス排出量を調査**(スコープ1~3)**
- 全体像の把握は完了

- 浜松事業所でCO2フリー電力活用を本格化
- 排出量が多いスコープ3の「材料調達」「輸送・配送」での削減策を検討中



「CO2フリー電気」購入契約証明書

サステナビリティへの対応②

<2022年の主な取り組み事例>

教育・芸術活動への支援



- 不登校の子どもたちの自立を支援する学校法人に当社電子楽器を寄贈
- 創業50年を記念して浜松市立小学校 97校にデジタルピアノを寄贈
- 障がい者のための国際音楽コンクール「ゴールドコンサート」への協賛を開始

音楽を通じた心の育成や障がい者の社会参加に貢献することで、未来に向けた**音楽文化の発展と豊かな社会の実現をサポート**

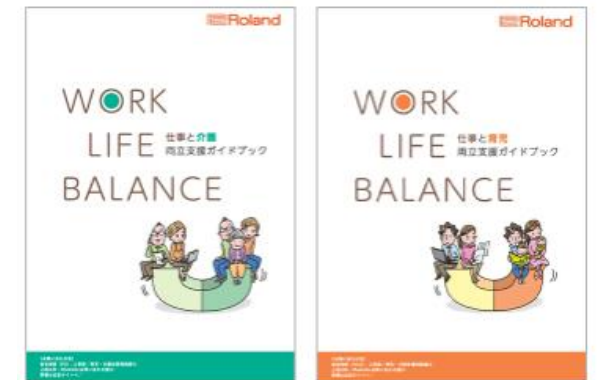


寄贈したデジタルピアノ『F701』

子育てサポートの推進



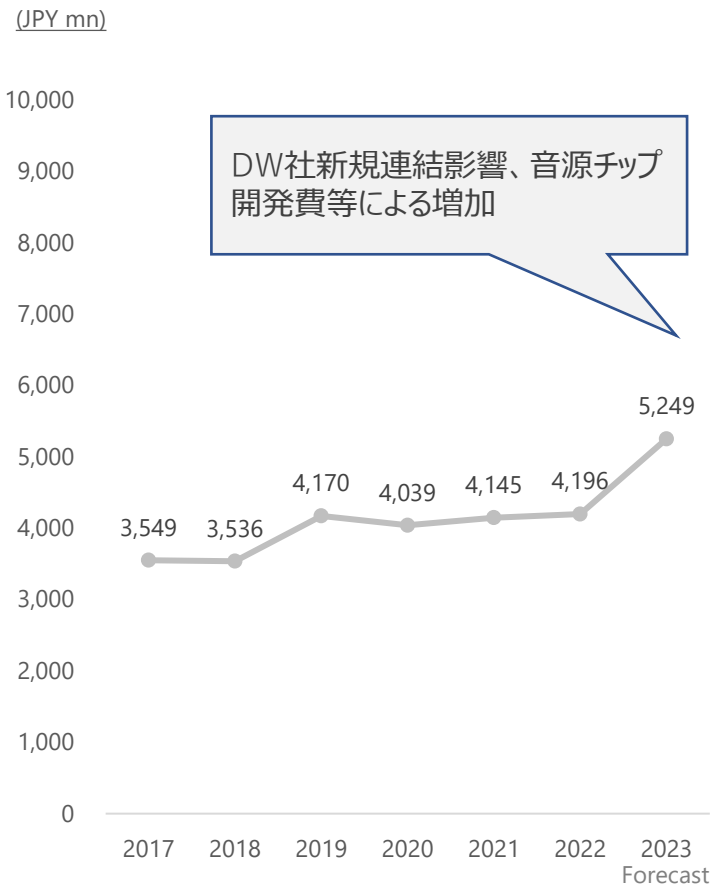
- 多様な働き方を拡充する取り組みが評価され、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣より**「くるみん」認定**を獲得



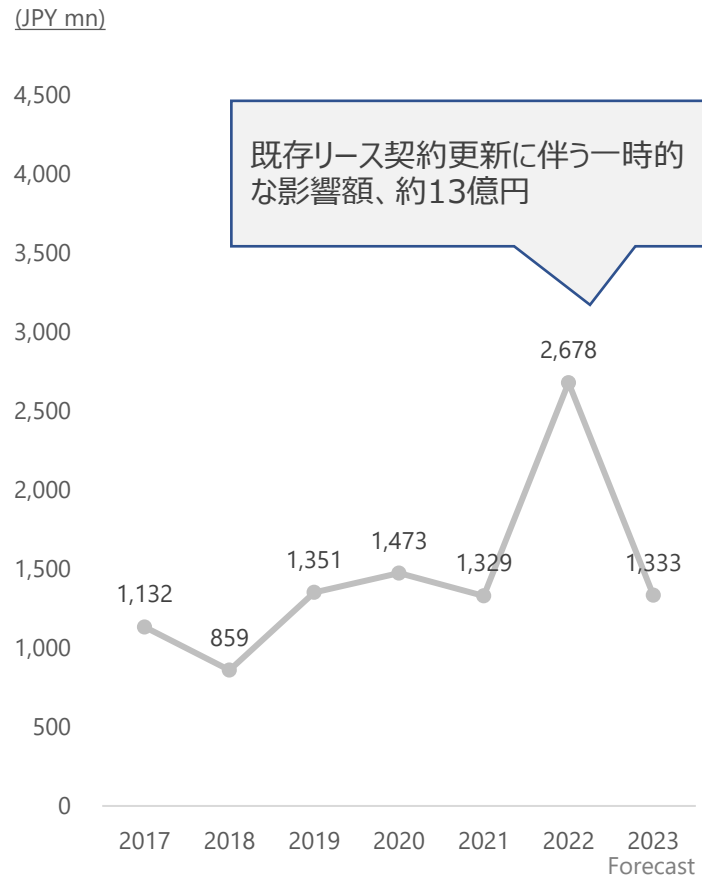
【仕事と育児・介護 両立支援ガイドブック 制作】

研究開発／設備投資・減価償却

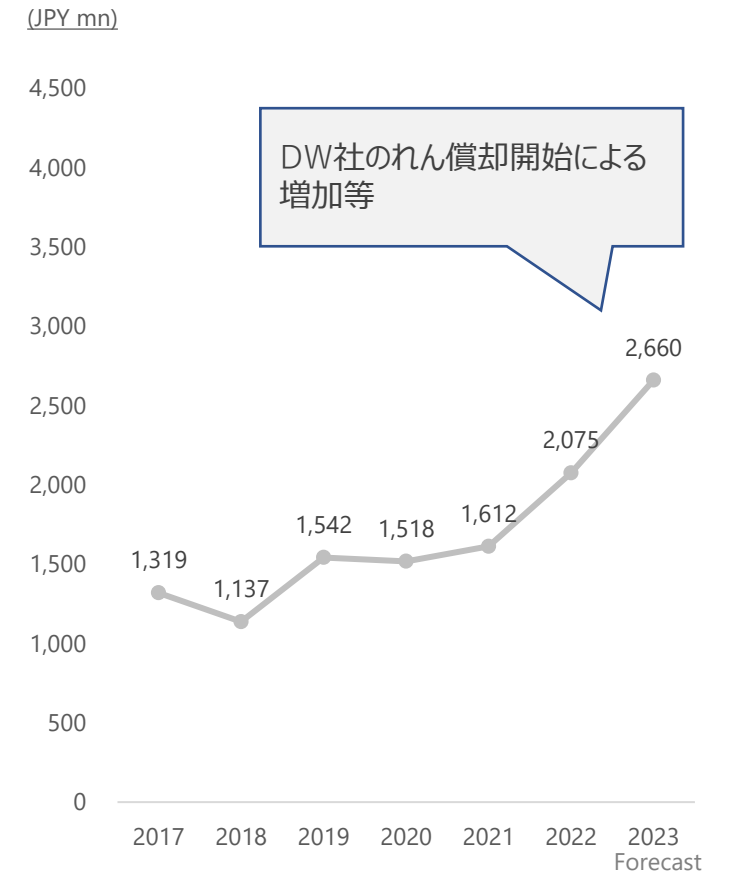
研究開発費



設備投資



減価償却費



主要連結財務数値(PL/指標)

(単位: 百万円)	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
売上高	61,153	63,247	64,044	80,032	95,840
売上原価	31,536	33,006	33,664	43,895	56,484
売上総利益	29,617	30,240	30,379	36,137	39,356
販売費及び一般管理費	23,762	24,971	23,264	25,043	28,605
営業利益	5,854	5,269	7,115	11,093	10,751
営業外損益	-685	-542	-837	-990	-501
経常利益	5,169	4,726	6,277	10,102	10,250
特別損益	-777	-646	-430	136	279
税金等調整前当期純利益	4,392	4,080	5,846	10,239	10,529
法人税等合計	1,788	1,488	1,538	1,650	1,575
親会社株主に帰属する当期純利益	3,048	2,629	4,301	8,586	8,938
EBITDA	6,992	6,811	8,633	12,706	12,826
D/Eレシオ	0.6x	0.6x	0.5x	0.2x	0.8x
自己資本比率	45%	41%	43%	54%	43%
Debt / EBITDA	1.6x	1.6x	1.1x	0.6x	2.1x
ROE	12.5%	14.4%	22.7%	35.6%	28.9%

主要連結財務数値(BS)

(単位: 百万円)	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
現金及び預金	9,052	8,815	10,832	8,781	10,506
受取手形及び売掛金	8,065	8,913	5,930	7,444	12,905
棚卸資産合計	13,142	14,215	18,075	25,240	32,322
その他流動資産	1,918	1,120	1,220	1,156	2,167
流動資産合計	32,178	33,064	36,058	42,623	57,902
有形固定資産合計	4,998	5,784	5,761	5,857	7,770
のれん	32	27	22	20	3,266
その他固定資産	3,934	4,656	4,254	4,305	8,117
固定資産合計	8,965	10,468	10,038	10,183	19,154
資産合計	41,144	43,532	46,096	52,807	77,056
支払手形及び買掛金	3,949	4,130	5,228	6,391	5,606
短期借入金	2,086	3,118	138	-	17,700
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000	3,935	1,252	1,252
その他流動負債	4,609	6,458	7,678	8,389	7,954
長期借入金	8,124	7,111	5,762	5,822	7,570
その他固定負債	2,852	3,486	3,203	2,295	3,226
負債合計	22,622	25,305	25,945	24,150	43,309
純資産合計	18,522	18,227	20,151	28,656	33,747
負債純資産合計	41,144	43,532	46,096	52,807	77,056

主要連結財務数値(CF)

(単位: 百万円)	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
税金等調整前当期純利益	4,392	4,080	5,846	10,239	10,529
減価償却費	1,078	1,537	1,568	1,608	1,981
のれん償却額	59	4	4	4	94
売上債権の増減額	-677	-846	2,172	-347	-4,301
棚卸資産の増減額	-1,178	-1,239	-4,288	-5,427	-1,105
仕入債務の増減額	1,019	248	1,478	-106	-4,143
法人税等の支払額	-2,797	-1,044	-1,816	-2,516	-2,367
その他	1,353	2,252	1,936	1,475	106
営業キャッシュ・フロー	3,250	4,992	6,902	4,929	793
有形固定資産の取得による支出	-768	-1,036	-1,012	-1,208	-1,272
有形固定資産の売却による収入	101	45	149	557	49
無形固定資産の取得による支出	-218	-576	-152	-98	-108
投資有価証券の売却による収入	1,064	16	-	-	-
その他	-23	-37	113	-54	-10,020
投資キャッシュ・フロー	154	-1,588	-901	-803	-11,351
フリー・キャッシュ・フロー ¹	3,405	3,403	6,000	4,125	-10,558
短期借入金の純増減額	1,845	1,057	-2,949	-143	17,686
長期借入れによる収入	5,000	-	6,200	1,500	3,000
長期借入金の返済による支出	-1,130	-1,012	-4,614	-4,123	-1,252
配当金の支払額	-11,504	-1,902	-2,275	-2,922	-4,082
その他	-7	-1,288	-30	-381	-2,472
財務キャッシュ・フロー	-5,797	-3,146	-3,669	-6,071	12,879

¹ フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計

主要連結財務数値(製品/地域別売上高)

(単位: 百万円)	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
鍵盤楽器	15,551	17,104	17,842	24,792	29,869
管打楽器	14,351	14,205	14,620	19,053	23,046
ギター関連機器	16,411	16,744	16,712	19,093	23,540
クリエイション関連機器 & サービス	7,647	8,267	8,010	10,122	12,206
映像音響機器	4,624	4,289	4,597	4,282	4,357
その他	2,566	2,634	2,261	2,689	2,819
合計	61,153	63,247	64,044	80,032	95,840

(単位: 百万円)	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
日本	8,683	9,237	9,066	9,666	9,736
北米	18,169	18,914	19,963	25,959	34,904
欧州	19,751	19,518	21,027	24,958	26,439
中国	6,005	7,194	6,304	8,673	9,641
その他	8,543	8,381	7,682	10,775	15,118
合計	61,153	63,247	64,044	80,032	95,840

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。